

慢性鼻炎

患者様情報

来院されるまでの症状

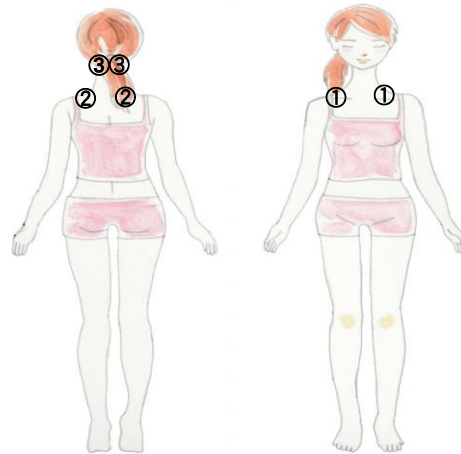
- ・首肩こりを強く訴えてご来院されましたが、問診の際に慢性鼻炎であることが判明しました。
- ・常に鼻が詰まっており、口呼吸をすることが多く、幼いころに鼻茸の切除手術をしましたが、現在も鼻詰まりや蓄膿症を繰り返しているとの事でした。
- ・また、鼻中隔湾曲もあるかもしれないという診断も受けているそうです。

患 者 様	40 代 女性
初 診	2018 年 12 月
既 往 症	子宮筋腫
他 の 症 状	首肩こり、嚙みしめ、背部の痛み

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・デスクワークによる強い首肩こり、口呼吸、嚙みしめによる顎の痛みもあることから、首肩こりによる鼻づまりも考えられると診断しました。
- ・首肩こりだけではなく全身に筋肉の緊張が診られたので最初は浅めの鍼で全身を緩めました。
- ・その後胸鎖乳突筋付近を中心に施術を行い、鼻詰まりの改善を試みました。



■ 初診後の経過

- ・1回目の診療直後から鼻が通ったとの感想を頂きました。
- ・施術後は毎回鼻の通りが良くなることから、週に1回定期的に来院していただき治療を継続しています。

使用した主要なツボ

- ①欠盆（ケツボン） ②頸根（ケイコン）
③天柱（テンチュウ）

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・慢性鼻炎の症状を放っておくと、口呼吸や喉の乾燥により風邪をひきやすくなる等の様々な症状を引き起こすと言われております。
- ・今回の症例のように鼻茸や鼻中隔湾曲などの器質的な原因がある場合でも、首肩を中心に治療を行うことで慢性鼻炎の改善がみられると言えます。